

職員オススメ本 3月

「蕎麦打ち万太郎」 原 宏一／著 祥伝社



『蕎麦処まんた』は、モンゴル人で元力士の万太郎と妻、希子と大学生バイト、拓磨の三人で経営している。

ある日、蕎麦打ちをしていたはずの万太郎がいなくなってしまう。希子が探しに行くと、コの字酒場『一献屋』の女将と話し込んでいた。『一献屋』のバイト、綾乃がメンタル不調でアパートに閉じこもっているらしい。万太郎と希子は、綾乃のアパートへ向かうのであった。

困った人を助けずにいられない、猪突猛進の万太郎の連作短編小説です。

「せんそうしない」 谷川 俊太郎／著 講談社



何かを伝えたいとき、たくさんのことばをならべても、相手に伝わるとはかぎりません。難しいことこそシンプルに。詩人の谷川俊太郎さんの最小限のことばが、穏やかで美しい挿絵とともに読む人の心にゆっくりとしっかりと響いてくる一冊です。

「おとなの大ピンチ図鑑」

大人の大ピンチ研究会／編 主婦と生活社



もうすぐ新年度を迎え新しい環境の中で過ごす予定の方もおられると思います。この本では多くの働く人たちの失敗や失言、トラブルなどをどう乗り越えたかが綴られており、その対処方法がセーフだったかアウトだったかの判定も下されています。クスツと笑えるほほえましい失敗から「これはちょっと・・・」と思うようなトラブルまで、すべてが実話。いつか笑って振り返られる時が来ることを信じて日々懸命に生きていきたいものです。社会人として大切なのは経験を積むことなのか、それとも心と時間の余裕なのか。皆さんは本書に書かれたような「大ピンチ」が訪れたらどう乗り越えるでしょうか？